

学びの杜ののいちカレード開館記念

米林 宏昌展

つながる輪

入場
無料



2017年

11月1日[水]→11月28日[火]

※11月1日をのぞく毎週水曜日は休館

9:00～19:00 (ただし1日のみ10:20開館予定)

市民展示室・オープンギャラリー

【お問い合わせ】学びの杜ののいちカレード開設準備室

石川県野々市市太平寺4丁目156番地

10月9日までは☎070-3872-4328、10月10日以降☎076-248-8099

※10月31日まで月～金曜日 9:00～17:00

11月1日は10:00～22:00、11月2日以降は9:00～22:00

 学びの杜ののいちカレード

【主催】野々市市、学びの杜ののいちカレード 【特別協力】米林宏昌 【協力】小松精練株式会社、株式会社三上建築事務所

【後援】北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、NHK金沢放送局、金沢ケーブルテレビネット、えふえむ・エヌ・ワン、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななほ

学びの杜ののいちカレード開館記念

米林宏昌展 つながる輪



よねばやし ひろまさ
米林 宏昌氏

1973年生まれ。野々市市出身。スタジオジブリ『借りぐらしのアリエッティ』でジブリ史上最年少の監督デビューを果たす。今夏公開の最新作『メアリと魔女の花』はスタジオポノックでの初の長編映画となった。

学びの杜ののいちカレードは、11月1日、石川県野々市市に図書館と市民学習センターの二つの機能をあわせもつ複合施設としてオープンします。その開館を記念して「学びの杜ののいちカレード開館記念 米林宏昌展 つながる輪」を開催いたします。

米林宏昌(よねばやし・ひろまさ)氏は野々市市出身の世界的に高く評価されているアニメーション監督です。最新作の今夏公開された長編アニメーション映画『メアリと魔女の花』は皆さまの記憶に新しいことでしょう。

このたび児童図書コーナーに設置された、カレードのシンボルとなるパオのために、米林氏に『ののいちの輪』と『世界の輪』の2種類のイラストを描きおろしていただきました。これらの二つの輪が重なったとき、はじめてパオは一つの作品として完成します。

本展覧会ではその10枚の原画を中心に、米林氏がこれまで制作したイラストや野々市市広報に掲載された記事の原画など、米林氏のこれまでの活動、野々市市とのつながりを紹介します。

野々市市における米林氏の個展は本展覧会が初の機会となります。ぜひ皆さま足をお運びください。



3. 米林宏昌(ののいちの輪③)、野々市市



7. 米林宏昌(世界の輪①)、野々市市



35. 米林宏昌(いざない)



40. 米林宏昌(まなざし②)

・表面のデザインは米林宏昌氏が自身の作品を再構成したものです。

関連イベント

開館記念 米林宏昌講演会『アニメーション映画の作り方』
日時:11月3日(金・祝) 14:00~15:30(13:30開場)
会場:学びの杜ののいちカレード内 市民学習センター研修室・会議室
定員:100名 参加費:無料
開館を記念して、米林宏昌氏の講演会を開催します。
応募者多数の場合は抽選となります。

● 応募方法

往復はがきにて、返信用はがきの宛名に「住所」、「氏名」、往信用はがきに「住所」、「氏名」、「年齢」、「電話番号」、「同伴者(最大1名)の氏名・年齢」、「米林宏昌氏への質問やメッセージ(任意)」、「託児の希望の有無」を明記し、10月2日(月)必着で以下の宛先までお送りください。

● 宛先

〒921-8845 野々市市太平寺4丁目156番地
「学びの杜ののいちカレード内 米林宏昌講演会係」
※1枚の往復はがきで2人分まで応募可能。当選通知は、抽選後、10月中旬以降に返信はがきをもって連絡します。未就学児は入場できません。催事当日は託児サービスを承ります。

★ 学びの杜ののいちカレード

[交通アクセス]

- JR野々市駅から
- ・コミュニティバスのつてい北部ルート
「野々市駅南口」乗車、「フォルテ」下車徒歩5分
 - ・シャトルバス のんキー「野々市駅南口」乗車、「フォルテ」下車徒歩5分
 - ・車で約2.5km

JR金沢駅から

- ・北鉄バス9番乗り場にて40番・41番・42番に
乗車、「太平寺(たへいじ)」下車徒歩5分
- ・車で約7km

北陸自動車道

- ・白山ICから 車で約6km
- ・金沢西ICから 車で約6km

- P 無料駐車場 約130台**
(うち、車椅子、マタニティ専用4台) 駐輪場 有
※施設内にあるコミュニティバスのつていのバス停「カレード」もご利用ください。



学びの杜ののいちカレードとは 学びの杜ののいちカレードは、2017年11月1日、野々市市に新市立図書館と市民学習センターの機能が融合した、市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働におけるシンボルとして誕生します。図書館は開館時13万冊(最終的には25万冊)以上の蔵書を誇り、市民学習センターでは美術や音楽などの芸術文化や料理の創作活動、また屋外の憩いの広場では交流活動に取り組みます。このカレードを文化交流拠点とし、ヒトとモノから新たなコトを生み出していきます。